

子どもシェルター

設立準備シンポジウム

「今日どこにも帰れない」「もう叩かれたくない」…親からの不適切な養育に対して、声をあげられずに助けを求めている子どもたちがいます。全国での児童虐待件数は、10万3260件（2015年度）と過去最多です。兵庫県だけでも3302件（2015年度）にのぼります。児童虐待に対しては児童相談所が中心となって対応に当たっていますが、それでも保護できない子どもたちがいます。「子どもシェルター」は、虐待や貧困などさまざまな事情から居場所がない子どもたちのために緊急避難場所を提供します。

現在子どもシェルターは、全国14都道府県15か所で開所（うち2か所は休止中）されており、24時間体制でスタッフやボランティアが子どもたちと生活を一緒にして寄り添いながら、避難をしてきた子どもたちに安心・安全でいられる居場所を提供します。

しかし、**兵庫には、関西の中で大阪について児童虐待件数が多いにもかかわらず、子どもシェルターがありません。**現在、兵庫県内の、弁護士、学者、社会福祉士や臨床心理士などの有志が集まって、**今年の9月のシェルター開所**を目指して準備をすすめています。

このたび、1人でも多くの市民の方々に子どもシェルターの存在・役割、子どもたちの置かれた実情を知っていただくために、標記シンポジウムを開催致します。

シンポジウムでは、全国初の子どもシェルターを設立した坪井節子さん（カリヨン理事長）や日々困難を抱えた子どもたちに関わる福祉や医療の専門家の方々をお招きして、それぞれの観点から子どもシェルターに期待することなどについて語っていただきます。是非、お誘い合わせの上お越しください！

日時 2017年2月25日（土）

午後1時（12時半受付開始）～4時30分

場所 兵庫県弁護士会館4階 **参加無料・事前申込み裏面参照**

第1部 基調講演 「全国に子どもシェルターを！」

社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長・弁護士 坪井節子さん

第2部 パネルディスカッション 「子どもシェルターの役割を考える」

パネリスト

兵庫県西宮こども家庭センター所長 荻野勝己さん

自立援助ホーム「あらんの家」ホーム長 浜田進士さん

県立尼崎総合医療センター小児科部長 毎原敏郎さん

社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長 坪井節子さん

コーディネーター

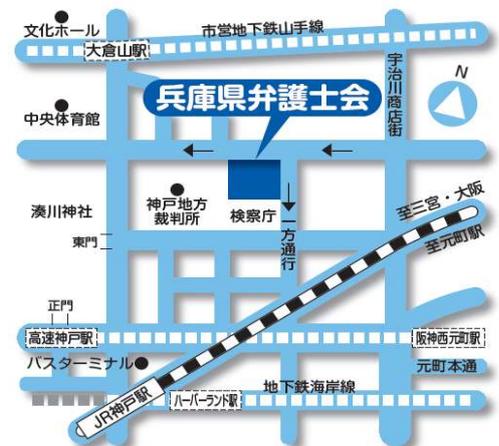
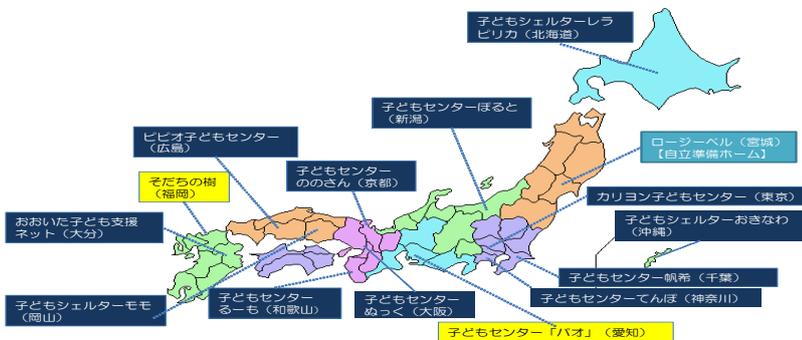
兵庫県弁護士会子どもの権利委員会委員長 曾我智史

基調講演講師ご紹介：坪井節子さん

弁護士として虐待や非行など困難を抱えた子どもたちに向き合い続け、彼らの駆け込み寺が必要だと考え2004年6月に全国初の子どもシェルター「カリヨン子どもの家」を創設。子どもシェルターのみならず、就労自立を目指す子どもたちのための自立援助ホーム「カリヨンとびらの家」「カリヨントヤけ荘」を開設してきました。また、カウンセリングや学習、ダンス、ボイトレ等の楽しみやアフターケアの場として「カリヨンハウス（デイケア事業）」を営み、支援の幅を拡大しています。2016年3月には、虐待を受けたために精神に不調をかかえ療養が必要で、すぐに就労や就学ができない子どもたちのために生活場所を提供する法人型ファミリーホーム「カリヨンあしたの家」を開設しています。

現在に至るまで約330名の子どもたちの受け入れを行い、社会福祉法人カリヨン子どもセンターの理事長として、困難を抱えた子どもたちに支援の輪を広げています。

全国の子どもシェルター



会場へのアクセス

兵庫県神戸市中央区橘通 1-4-3

兵庫県弁護士会館（本館）4階

- ★ JR神戸駅より徒歩約5分
- ★ 阪神・阪急高速神戸駅より徒歩5分
- ★ 阪神西元町駅より徒歩約5分

主催：兵庫県弁護士会・兵庫子どもシェルター準備会

【お問い合わせ】

事務局：兵庫県弁護士会事務局（担当：佐々木）

〒650-0044

神戸市中央区東川崎町 1-1-3 神戸クリスタルタワー13階

TEL 078-341-8227 FAX 078-341-1779

後援（予定）：兵庫県、神戸市、尼崎市、西宮市、兵庫県社会福祉士会、兵庫県臨床心理士会ほか

事務局宛 FAX 078-341-1779

参加を希望される方は、上記事務局宛にFAXでお申し込み下さい。

参加費は無料です。

ふりがな 氏名		ご職業 (所属等)	
電話番号		E-mail	
住所			